

愛媛	KIZUNA	香川	第 11 号
高知	四国ろうあ連盟	徳島	2011年 10月1日発行
	発行人：山中 睦子	発行所：四国ろうあ連盟 〒768-0051 観音寺市木之郷町甲 1116-1 西讃ふくろうセンター内 FAX 0875-27-7708	
	編集人：近藤 龍治		

災害時の情報保障を考える

自分の命は自分で、地域の人との協力で

全国各地に We Love コミュニケーションパンフレット普及活動、署名運動を行っています。それぞれ各県の報告に一喜一憂を感じる夏も終わり、秋の気配がそこに来ています。

今年は、3月に発生した東北大震災や台風による土砂崩れや浸水など災害の多い年です。災害が発生するたびに、聞こえる人のように情報を得ることができないろうあ者はどうしているだろうかと心配しています。情報・コミュニケーションは生きる権利であることを痛感しています。

先ほど私たちの地域で災害に関するセミナーが開かれました。その中で、大きな災害では、道路や橋などが寸断され、公的な機関の救助は被災地になかなか入ることが難しいという話がありました。自分の力や地域の力が大切だということでした。自分の命を自分で守るために避難用品の準備や危険箇所の確認を自分でしなくてはなりません。また、地域で協力して助け合うことを確認しておかなくてはなりません。

災害が起きた時、手話通訳者がすぐに来てくれるとは限りません。災害時の情報保障について

行政に理解を求めると同時に、家族での話し合いや地域の人との交流、地域に手話や聴覚障がいに対しての理解を広めることが重要だと思います。

そうなるのであれば、手話奉仕員養成が重要になってくるのではないのでしょうか。手話のできる聴覚障がい者に理解のある市民をみんなに養成していきましょう。



高知県

学習会のお知らせ

全日本ろうあ連盟事務局長久松氏をお迎えし、学習会を開催します。

日時：2011年11月26日（土）

15：30－17：00 講演（学習会）

17：00－17：30 質疑応答

演題：「全日本ろうあ連盟の目指すもの」

講師：全日本ろうあ連盟事務局長

久松 三二 氏

場所：高知市保健福祉センター

参加費：無料（関係者以外¥300）

締め切り：11月20日

申し込み方法：高知県聴覚障害者協会

FAX 088-875-5307

香川県

高松市における手話通訳派遣申請問題

高松市在住の女性が、来春、子どもが進学希望している県外の専門学校のオープンキャンパスに参加したいと考え、手話通訳派遣申請を行ったところ、派遣場所が市外であり市長が特に必要であると認める程度の客観的な重要性に乏しいということ、派遣対象が運用基準の教育（義務教育、高校）に関することに該当しないという理由で却下されました。このことについて高松市に対して不服申し立てを行いました。

手話通訳派遣制度や情報保障とはなにか、ろう者の人権を擁護するとはどういうことかを考え取り組んでいる最中です。

不服申し立てに対する高松市の回答結果が分かり次第ご報告いたします。

理事会報告

11月26日（土）理事会 高知県聴覚障害者情報センターで開かれます。次年度事業計画案を主に協議する予定です。ご提案があれば、事務局まで FAX してください。

11月27日（日）四国ブロック幹部研修会を開催します。詳しい案内書は、各県協会事務局においてあります。「情報コミュニケーションと手話言語の法制化」というテーマで、全日本ろうあ連盟事務局長久松三二氏に講演していただきます。

お知らせ

2012年8月24日（金）から26日（日）まで 全国手話通訳問題研究会夏集会が高知県で開催されます。

テーマは「生きる！繋ぐ！拓く！～未来への発信～」です。来年のことを言うと鬼が笑うとも言いますが、この四国に全国から手話関係者やろう者がたくさん集まります。四国の会員のみなさんも今から予定をあけておいて、ぜひ参加してくださいね。ご協力をお願いします。

◆編集後記◆

台風が続けて日本を直撃し、人々の暮らしに影響をもたらしました。みなさんの町は大丈夫でしたか。台風は痛みや恐怖を与えるだけでなく、命さえ奪うこともあります。「備えあれば憂いなし」という言葉があるように日ごろからの準備が大切です。

被害が大きくなると私たち聞こえない者が不安を感じるのは、情報を阻害されることです。情報なくしては生きることが難しい社会の中で、「We Loveコミュニケーションパンフ」普及運動がいかに大切かということが言えます。

みんなが力を合わせて誰もが暮らしやすい社会にしていきましょう。